

## 平成 27 年度 筑豊地区高齢者相互支援リーダー研修会 開催

平成 27 年 7 月 14 日（火）宮若市の「マリーホール宮田」にて筑豊地区「高齢者相互支援リーダー研修会」が開催されました。

今回の筑豊地区の支援活動員のリーダーの方々が 122 名参加されました。

研修内容は単位クラブ新任会長研修会と同様、福岡県消費生活センターから「悪質商法」「ニセ電話詐欺」について注意喚起を含めた内容のお話をいただきました。福岡県は昨年と比較して 2 倍を超える被害額ということで、機会あるごとにお話をいただいています。とにかく皆さん気をつけてください。「電話でお金の話は全て詐欺！」と思ってください！その後、福岡県高齢者地域包括ケア推進課より「高齢者の福祉について」ということで県の施策等をお話いただきました。

休憩を挟み、福岡県老人クラブ連合会事務局より「高齢者相互支援活動」について、活動が始まりや今までの経緯、そして活動について等を説明させていただきました。



午後の部は直方市老連の千々和会長に座長を務めていただき、支援活動員として活動されているお二人の方に事例発表をしていただきました。参考になればと内容についてまとめました。（詳細は添付の研修会資料を参考にしてください。）

お一人目は 鞍手町老連 弥生区若生会（やよく わこうかい）の西山堅会長より「高齢者相互支援活動について」ということで発表していただきました。

西山会長さんは老人クラブに 58 歳で加入。

『加入当初は老人クラブと一緒に活動するお年寄りが、残された人生を楽しんでいるように思えなかった』というのが、様々な活動の始まりで、皆さんにアンケートを取ったところ、やりたいことが沢山で **“お年寄りはお客様の甘えを捨て、自分たちでサロンを”** を合言葉に『高齢者サロン』を始めました。

また従来、役員がやっていた準備や後片付け、女性がお茶くみ等のお世話をしていましたが、 **“自給自足・旅行は学級員制度導入” “古い習慣を捨て、公平宣言”** ということ、何をするにも男女平等の活動により相互支援活動が極自然な形で行われるようになりました。

『学級員制度』というのは、例えば年 2 回実施する 1 泊旅行で元気な人が先輩高齢者の方のお手伝いをするということで、学級員は帰ってくるまで責任を持ってお世話するというものです。この制度により担当となる人も責任感を持ってお手伝いしますし、先輩高齢者の方もそのお手伝いによって、楽しく過ごせるなど参加者全員が楽しめるものになっているとい



う発表をしていただきました。

ご自分で作成されたパワーポイントで分かり易く、写真や音楽を盛り込んだ発表で大変分かり易い内容でした。

今後もクラブが楽しい活動を続けていく秘訣は 後継者を育てていくことではないでしょうか・・・。

『最期まで ・寂しい思いをしない ・毎日を明るく過ごす ・悔いを残さない人生 若生会はその努力を続けます』と締めくくられました。

西山会長さんの所属される若生会は 「自治会」「老人クラブ」「サロン」の相互の繋がりもあり、高齢者情報等も共有できているため、活動が活発になされていると感じました。

お二人目は 芦屋町老連 市場区羽衣会の片山久恵さんより「小さな自治区の高齢者支援と見守り」という題名で発表していただきました。



芦屋町の調査で「市場区」は高齢化率が第1位でしたが、区内には寝たきりの方も、入院している方も居ないので、高齢化の実感がありません。自治区も過疎化が進み、現在では40世帯の小さな自治区となっているが、ボランティア団体や自治区、サロン、老人クラブと連携協力して高齢者支援と見守りを行っている。

『近助（きんじょ）、向こう三軒両隣作戦』を展開し、声掛け、安否確認を行っている。

おわりに、今後も年間行事を通して積極的にコミュニケーションの向上を図り、情報の共有や高齢者の支援マップを作成して、支援・見守りの輪を広げて行きたいという今後の目標を発表されました。

ある研修会で講師の方が「自治会」「老人クラブ」「民生委員」など地域の団体等と上手く連携が取れているところは、老人クラブ活動も上手く運営されているという内容を話されていましたが、お二方の事例発表をお聞きして、本当にそうだなと実感しました。

参加の皆さんよりサロンと老人クラブの関係などの質問等もあり、盛会のうちに終了しました。今後は様々な場面で支援活動員の活動が地域を支えていくことになると思います。今後のヒントになれば幸いです

座長の千々和会長さん、事例発表をされました西山会長さん、片山さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。

この高齢者相互支援リーダー研修会は地区毎の研修会であるため、活動内容についても地域の特色等もあります。

他の地区研修会の内容をご紹介することで、少しでも高齢者相互支援（愛の一声運動）のお役に立てればと思います。

